

# 希望の広場

二本松市立小浜小学校  
学校だより

第 2 号

2020. 4. 8

## 地域力を強く感じています～その1

コロナウイルス感染症対策のためには、「マスク」が必要不可欠なのに手に入らない…。3月の末、マスクが手に入らない状況にあって、4月から学校を再開する際、どのようにすればよいか、本校教職員もたいへん困っていたそうです。

そのような中、地域の方々が、私たち教職員の思いに寄り添い、手を差し伸べてくださいました。その方々は「ボランティアグループお針箱」の皆さんです。平成12年度から活動する旧岩代町のボランティアセンター開設に伴ってできた手工芸の好きな方々の会です。

代表の大内みや子様から、

「地域の子どもたちが困っている状況なら、是非私たちが協力したい…」

「始業式の日には、子どもたちに届けることができるよう、何とか仕上げたい…」

そのようなお申し出により、3月末から4月初めの4日間、学校にお集まりいただき、マスク製作を行っていただきました。マイミシンを持ち寄って手際よく縫い上げる会員の方、型紙を手にも素早くしるしをつける方…プロも顔負けの素早く正確な仕事ぶりを目の当たりにして職員も圧倒されました。子どもたちのため、朝から夕方まで休みなく、製作いただきました。学校、子どもたちに対する地域の方々の温かい思いを感じた瞬間でした。

お針箱の皆さま、本当にありがとうございました。有効に活用させていただきます。



## 地域力を強く感じています～その2



小浜小学校歴代PTA会長・副会長会の会長を務められる遠藤佐吉様、前会長の大内征史様が来校され、今般のコロナウイルス感染症対策のため、学校に役立ててほしいというお申し出があり、多大な御寄付をいただきました。4月からの学校再開に向けて苦慮している学校の現状に思いを寄せていただいたこと、胸が熱くなりました。いただいた御寄付は、今後、有効な活用方法を検討させていただき、子どもたちに還元したいと思います。本当にありがとうございました。

今後とも私たちがどうぞ見守ってください。